



シラバス参照

タイトル「**2017年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2017年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|----------------|---|------|----|
| 科目名 | 観光リスクマネジメント | | |
| 担当教員 | 大井 達雄 | | |
| 対象学年 | 1年 | クラス | T1 |
| 講義室 | T-101 | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時限 | 月5 | 単位区分 | 選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 準備事項 | | | |
| 備考 | | | |
| 科目名 (英語表記) | Tourism Risk Management | | |
| 授業の概要・ねらい | <p>リスクマネジメントとは、企業の価値を維持・増大していくために、事業に関連する様々なリスクを適切に管理する活動を意味する。当然のことながら、観光産業も国内だけでなく、国際的な経済動向、事故、災害やテロなどの影響を受けることもあり、適切なリスクマネジメントを行なう必要がある。本講義では、観光産業におけるリスクの種類とその対策、または実際に危機が起こった場合の対処方法について、国内外の事例を紹介しながら習得することを目的とする。</p> | | |
| 授業計画 | <p>第1回 観光市場の変化とリスクマネジメント・危機管理の重要性 第2回 リスク・危機の概念とマネジメントの必要性 第3回 リスク・危機の概念・分類・範囲 第4回 リスクの認知・評価、診断 第5回 リスクマネジメントの手法・観光における特殊性 第6回 危機管理モデルの紹介（段階モデル・ライフサイクルモデルなど） 第7回 危機発生時のコミュニケーションの重要性・ICTの活用 第8回 情報収集と予測手法 第9回 マーケティング、メディア戦略 第10回 行政・企業・地域の連携とネットワーク 第11回 危機管理対応マニュアルの作成・効果 第12回 自然災害発生時における事例 第13回 疫病・事故発生時における事例 第14回 内紛・テロリズム発生時における事例 第15回 観光におけるリスクマネジメント・危機管理の展望</p> | | |
| 到達目標 | 観光産業の特徴を理解しながら、同時にリスクマネジメントや危機管理の具体的な手法について習得することを目標とする | | |
| 成績評価の方法 | 試験、レポート、および出席点で評価する。基本的な点数配分として、期末試験70%、レポート20%、課題点10%を予定している。 | | |
| 教科書 | 安村克己編『危機管理論と観光』,くんぶる, 2008年 | | |
| 参考書・参考文献 | 安村克己・遠藤英樹・寺岡伸吾編『観光社会文化論講義』, くんぶる, 2006年 吉田春生『ツアー事故はなぜ起こるのか: マス・ツーリズムの本質』, 平凡社新書, 2014年 岩田健太郎『「感染症パニック」を避け! リスク・コミュニケーション入門』, 光文社新書, 2014年 | | |
| 履修上の注意・メッセージ | くれぐれも欠席しないこと。欠席をした場合には、各自でフォローすること | | |
| 履修する上で必要な事項 | 疫病やテロなどの時事情報はメディアを通じて発信されているので、各自でフォローすることが望ましい。 | | |
| 受講を推奨する関連科目 | 観光統計, 観光経済論 | | |
| 授業時間外学習についての指示 | 基本的には、毎週新しいテーマについて学習することになるので、復習については各自でしっかり行うこと。 | | |
| その他連絡事項 | | | |



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.